



名立まちづくり協議会 会報

まち協だより



2021 年 1 月 28 日発行
【よろしく 2021 号】

No.9



セーブ・ザ・ライフ～一人ひとりの生命と暮らしを守り…～

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もみなさまのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

新しい年も早いものでひと月が過ぎようとしています。

思いもしなかった大雪に見舞われ、しばらくは不自由な暮らしを送らざるを得ない日々が続きました。

加えて…というより、時系列的には逆ですが、新型コロナウイルス感染症がより広域に、そして加速度的に進行していて、今や私たちの身の回りにまで迫ってきています。



洋上から望む朝日

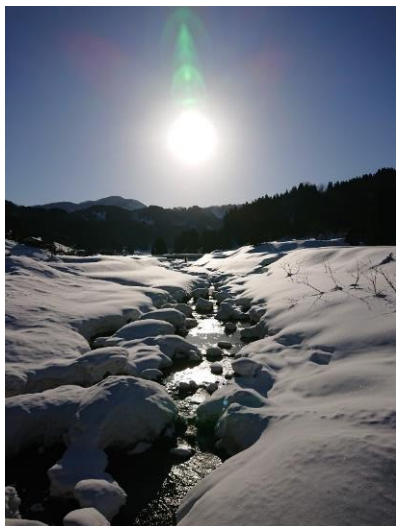
(新町: 泉 昭夫さん提供)

そうした現状の中やこれからの私たちの生き方を示す言葉として「ウィズコロナ」があります。

私たちが新型コロナウイルスを乗り越えることができたとしても、将来的にはさらに未知なるウイルスが出現する恐れは否定できません。そうであるとすれば、今後はウイルスと共存していくという覚悟が私たちに求められるのではないかと、それが「ウィズ (with) コロナ」という言葉の意味です。

ウィズコロナ下では「新しい生活様式」と言われるように、私たちの生活や仕事などのあり方を今までと大きく変えていかなければなりません。その中でも、いいえ、そうした厳しい状況を迎えるときこそ誰もが強く願うことが「一人ひとりの生命と暮らしを守る」ことなのではないでしょうか。

「生命」と「暮らし」はともにライフ (LIFE) という言葉で表すことができますので、“Save the LIFE” を今年のキーワードとし、名立まちづくり協議会は今年もみなさんと一緒に「一人ひとりの生命と暮らしを守り、いつでも誰もが安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



雪原にきらめく
新春の陽光
(巖橋から)

名立まちづくり協議会長 三浦 元二



裏面あり

◇さいの神に祈りを込めて…

1月17日(日)、2地区で豊漁豊作・家内安全・無病息災とコロナ終息を願い、さいの神が行われました。赤野俣町内会では先ず神事が執り行われ、親子連れなど約30人がお祓いを受けた後に点火をし、あぶったスルメなどを食べ健康を祈願しました。不動地区では鳥追いを行いながらさいの神の会場へ向かい、大きな雪の塔に設置されたワラやカヤを巻いたご神木に松明から点火されました。会場に集まった約70人が祭壇にお参りをし、お神酒などをいただきました。また、厄年を迎えた男性が雪の塔にあがり今年の抱負を語りました。準備にご尽力いただいた役員・関係者の皆さま、大変お疲れさまでした。このような伝統行事を絶やすことのないよう、次の世代へ継承していきたいものですね。

なお、森地区・折平町内会でも予定されていましたが、大雪のため森地区では2月11日(祝・木)に延期が決まっています。(※折平町内会は未定)



←赤野俣町内会



↑
不動地区
→



名立まちづくり協議会では今後、さいの神のような各地区や町内等で実施される行事・イベント等のお知らせ等を「まち協だより」に掲載していきたいと考えています。

こうして各地区の活動や取り組みを広く紹介することで多くの方から関心を持っていただくとともに、そのことで地域の活性化を図ることができるよう共に取り組んでいきたいと思っていますので、お知らせしたい行事等がありましたらまち協事務局までご連絡ください。

◇名立大町お雛さま巡り

昨年2月、名立大町自治会、名立区住民福祉会、社協名立支所が協力して名立地区公民館にお雛さま2体を飾り、公民館を利用される多くの方からご覧いただきました。今年はこの取組みに名立まちづくり協議会も参加するとともに、名立地区公民館に加え、名立大町地区5町内にもお雛さまを飾り、町中でも華やかなお雛さまを楽しんでいただけるよう準備を進めています。

詳細は近々配付予定の名立大町自治会通信でお知らせしますので、ぜひ、多くの方からご覧いただければと思います。



新町：牛木和幸さん宅
(2021.1.25)

【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)

担当：金子 僚子、石井 三千代

☎：025-537-2182

FAX：025-546-7041

✉：matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp